芒ハ頴ノ倍長デ穗狀花序ハ何レモ垂下シテ居ル

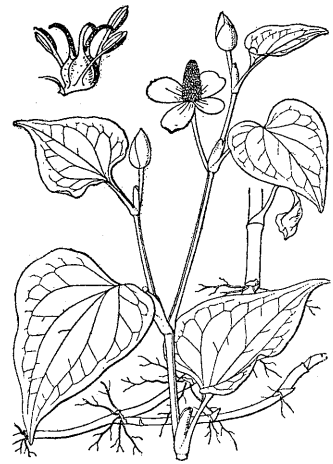
本田君ハ Asprella ヲ Hystsix ニ改メあづまがやヲ種ニ引上ゲテ H. longearistata Honda トスルト言ッテ居ルガ文獻上當然ノ成行キデアルト言フノハ Asprella ト云フ屬名ハ 1789 ニ出タ Asprella Schreb. ト 1809 ニ出來タ Asprella Humb. トガアルカラ Hystrix Mönch. (1794) ガ有効ニナルコトニナル尤モ Hystrix Bge. ト云フ異名ガ萱科ニアルガコハ後カラ出來タモノデアルカラ先ニ出來タ Hystrix Mönch. ガ有効デアル夫レ故米國產ノ Asprella ニ對シテハ A. S. Hitchcock ハ全部 Hystrix ヲ使ッテ居ルコトハ同氏ノ Genera of Grasses of the United States ヲ見レバ明カデアル、イヤコレハトンダ生意氣ナコトヲ申シタワイ

○どくだみ地下莖ノ食べ方

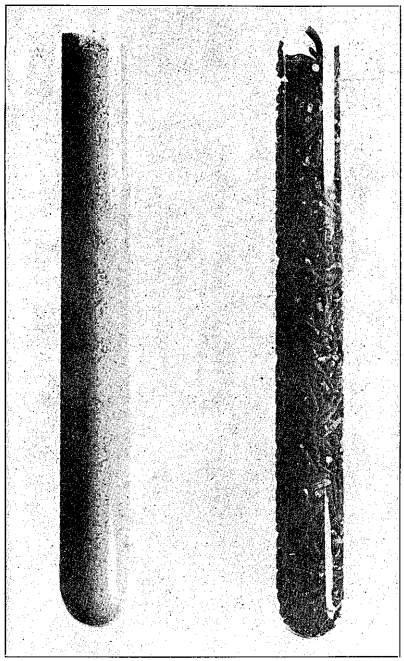
竹中幸惠（理學士竹中要君ノ夫人）

どくだみハ到ル處ニアル草デ蕺菜ノ支那名ト Houttuynia cordata Thunb. ノ學名トヲ有シ昔カラ藥用トシテ種々ニ使ハレテヰマスガ、私ガココニ申シマスノハ藥用デナク食物トシテ古クカラ私ノ但馬ノ地方ニ多ク行ハレテヰマス食べ方ヲ一二申上ゲタイト存ジマス

採取期ハ土用後（九月下旬カラ十月初旬頃）ガ一番適當ト言ハレテヲリマス、其ノ頃地下莖（私ノ地方デハ單ニ根ト云ヒマス）ヲ取ッテ來テ莚ニ入レテ何日モ何日モ揉ンデハ乾シ、乾シテハ揉ンデ手デ折ッテ見テ折レル位ヨク乾シテ、折レル樣ニナッテカラ槌デヨク打チ碎キマス、ソウシマスト細カイ根ヤ、大抵ノ汚物ハ皆打チ碎カレテシマイマス、ソレヲとほしデ振ッテ小サイ粉（卽チ泥ヤ根ノ打チ碎カレタモノ）ト非常ニ大キナモノトヲ取リ去リ、略々同ジ位ノ長サ（凡十糎）ノモノバカリニシマス、コレヲヨク乾シテ貯藏シテ置クノデス、ヨク乾イテヰテ貯藏ガヨロシカッタナラ二三年位保ツコトガ出來ルソウデス



どくだみ
（ラカ鑑圖物植本日）



砌子管ニ容レタどくだみ地下莖ノ乾物（右）ト其粉末（左）（縮小）

調理ノ方法ハ田舍ノ事デスカラ、甚ダぞんざいデスシ其ノ上私ハ餘リ經驗シテヰマセンノデドノ方法ガ一番美味シク食ベラレルカトハッキリ言フコトハ出來マセンガ一般どくだみニ小豆、甘藷ヲ加ヘテ煮ルノガ普通デス其ノ割合ハどくだみト小豆ハ同ジ位宛、甘藷ハ甘味ヲツケル爲ニ入レルノデスカラ人々ノ好ミニ依ッテ加減スレバヨイノデス

初メニ小豆ヲ別ニ煮テヲキ甘藷ハ蒸シテ皮ヲ取ッテオキマス次ニどくだみヲヨク洗ヒ水ヲタップリ入レテ柔カクナルマデ煮テ、柔ラカクナッタ時、前ニ煮テオイタ小豆、甘藷ヲ入レテソレニ食鹽ヲ少量加ヘテとろ火デ焦ゲツカヌヤウニマゼ乍ラ暫ク煮ツメマス、スルト水氣ガナクナッテ以上ノ三品ガ程ヨク交ッテ全體ガ小豆色ニナリマス、此レデ出來上ガッタノデスカラソレヲ暖カイ内ニ食ベルノデス、尙コレニ少量ノ餅米ヲ入レテ一緒ニ焚キマストネバリガ出テ一層美味シク戴カレマス

又はったいト云ッテどくだみヲ粉ニシテお八つニ食ベル方法モアリマス、コレハ乾シタどくだみヲ洗ッテ水氣ヲ切リ鍋デ煎リ澁柿ノ皮ノ乾シ

タノヲ同ジク煎リ、其レヲ一緒ニシテ挽臼デ細カク挽イテ粉ニシテ食ベルノデアリマス、柿ノ皮ノタメ少々ノ甘味ハアリマスガ甘好キノ人ハソレニ尚砂糖ヲ入レテ食ベマス

イヅレニシテモ餘リ美味トハ言ヘマセンガ中ニハ一寸藥クサイ香ヒガアルノデ非常ニ好ム人モアリマス、どくだみノ地下莖ハ婦人病ニ効能ガアルト言ヒマスカラ藥トシテ食ベルニハ先ヅ食ベヨクテ美味シイ方カト考ヘラレマス

コノどくだみハ前ニモ書イタ通リ何處ニモ普通ニアルモノデスカラコレヲ試ミヤウト思ヒマスレバ直グニヤッテ見ルコトガ出來マス、ソノ形狀ハ上ニ出シテアル圖ノヤウナモノデス、コレハ牧野先生ノ日本植物圖鑑ニアル圖デス、貝原益軒トイフ學者ノ著ハサレタ大和本草トイフ本ニ駿州甲州山中ノ村民とくだみノ根ヲホリ飯ノ上ニオキムシテ食ス味甘シト云ト書イテアリマス、又小野蘭山トイフ人ノ本草綱目啓蒙ト云フ書物ニハイロイロノ諸國ノ方言ガ出テ居リマスノデコレヲ次ニ書キ取ッテ見マシタ

しぶき和名鈔　じうやく　どくだみ　どくなべ越前　ほとけぐさ雲州　ぼうずぐさ豫州、加州　にうどうぐさ筑前　いぬのへどぐさ備後　ぢごくぐさ勢州　ぢごくそば奥州　わくどうぐさ筑後　へびぐさ常州　けいせいぐさ同上　どくぐさ上野　しぶとぐさ江戸　しびとばな駿州　どくまくり佐州

牧野先生ニ御聽キシタラ土佐デハしうさいト云フサウデス、私ノ國デハろくだめト申シマス

又上ノ大和本草ニ和流ノ馬醫用レ之馬ニ飼（カ）フ十種ノ藥ノ能アリトテ十藥ト號スト云ト出テ居リマシタ

○最近紀州デ發見サレタ植物

和歌山縣師範學校教諭　坂口總一郎

Viola Makinoi H. DE BOISSIEU. まきのすみれ